

## 関西でも鉄筋工の不足は深刻

### 人手不足は全国的な傾向

- 首都圏を中心に専門工事業界が技能労働者を手当てできない状況にあり、なかでも鉄筋工の不足が顕著だ（建設専門紙の記事より）
- 関西地区も同様で、実際に東京をはじめ埼玉や広島、四国などの同業者から応援を要請された組合員もいるが、どこも自社の職人を確保することに精いっぱいで、とても応援を出す余裕はないと断っている
- 建設市場の縮小に加え、低賃金と先行きの不安により、急激な人材の流出が専門工事業界で起きているのが理由といわれている

### 5年前に比べ鉄筋工は4割も減少

- 人手不足は仕事量が増えたからではなく、それ以前に鉄筋工そのものが減少しているから
- 全鉄筋（全国鉄筋工事業協会）の調査によると、直近の現場作業員の総数は約4万2000人で、事務職と加工場の従業員を含めても約4万9000人いるとのこと
- 2005年に約7万人（全鉄筋の推定）いたとされる鉄筋工が4割も減少したことになる

### 今こそ正当な評価と処遇の改善を

- 鉄筋工だけでなく、建設現場の第一線を支えているのは技能労働者
- このままでは技能労働者がますます職を離れ、社会資本整備の担い手である建設業全体の崩壊にも繋がりがねない
- 人材の確保・育成は喫緊の課題であり、今こそ業界は技能労働者に対する正当な評価と、彼らが安心して生活できる処遇改善を行ってほしいものだ